

平成28年度 学校評価アンケートのまとめ

一迫商業高等学校

※凡例



よく当てはまる



だいたい当てはまる



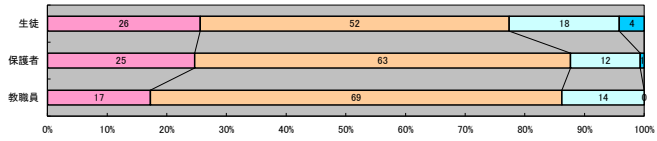
あまり当てはまらない



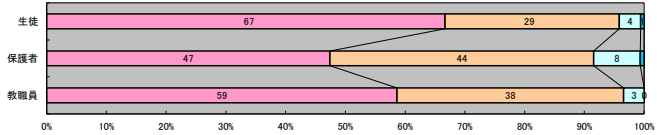
当てはまらない

I 宮城県公立高等学校共通項目

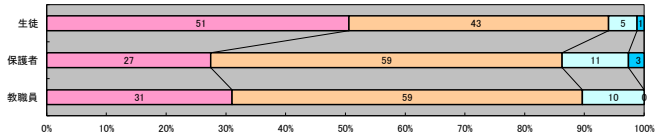
1 学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている（学習指導）



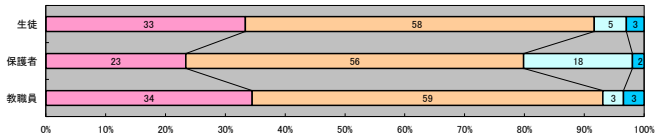
2 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている（生徒指導）



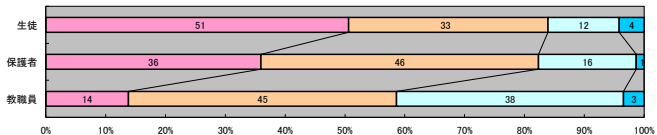
3 進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている（進路指導）



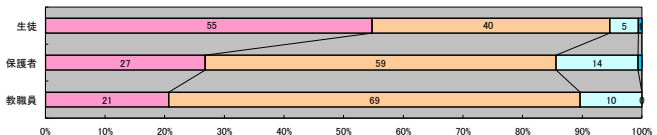
4 教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている（教育相談）



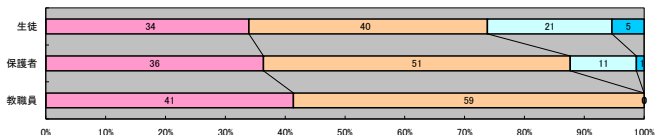
5 部活動は活発に行われている（部活動）



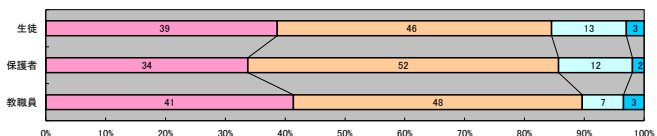
6 生徒会活動は活発に行われている（生徒会活動）



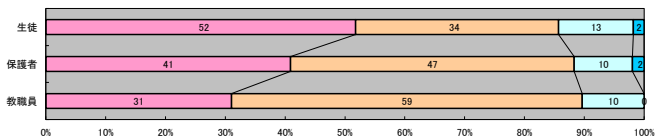
7 有意義な学校行事がある（学校行事）



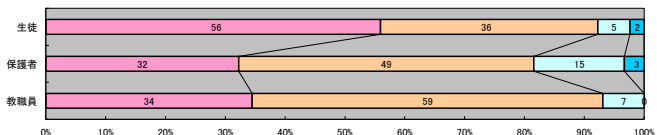
8 地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる（特色ある学校づくり）



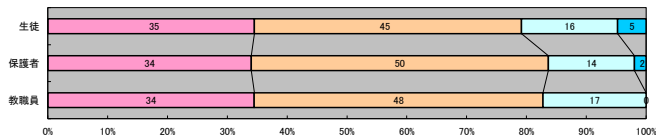
9 災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている（防災教育）



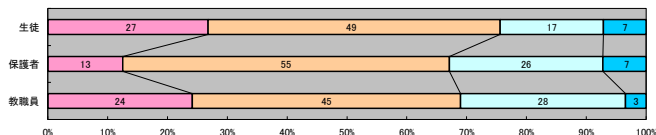
10 学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている（開かれた学校づくり）



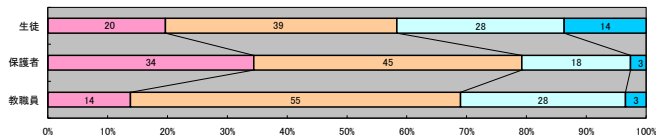
11 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている（施設設備）



12 日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる（いじめ問題・生徒）
学校として、いじめの問題に対する取組方針が保護者と共有されている（いじめ問題・保護者・職員）



13 学校生活は充実している（総合満足度）



生徒による評価では「学ぶ意欲を引き出し、学力が身につけられるような授業」について前年と比較しても10ポイント以上（一昨年と比較しても11ポイント）の低下、「有意義な学校行事がある」についても15ポイント程度（一昨年と比較しても16.5ポイント）の低下、特に「学校生活は充実している」については20ポイント以上（一昨年と比較しても18.4ポイント）の低下となっている。

保護者による評価では全般に微減の傾向であるが、「進路目標の明確化に向けた指導」、「有意義な学校行事がある」、「学校生活は充実している」で7～8ポイントの低下となっている。

教員による評価では「学ぶ意欲を引き出し、学力が身につけられるような授業」で6ポイント程度の低下、「施設設備」「いじめへの対応」で7～9ポイント、「災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている」、「学校生活は充実している」で10～12ポイント程度、「部活動は活発に行われている」では30ポイントに迫る低下となっている。一方、「進路目標の明確化に向けた指導」「地域や伝統に根ざした特色ある学校づくり」「有意義な学校行事がある」は4～8ポイント、「学校だより等によって学校の情報は適切に伝えられている」は19ポイントの上昇がある。

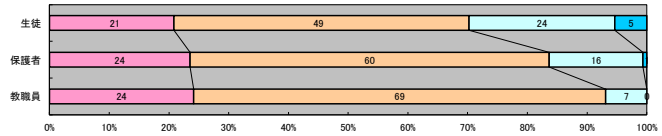
入学してくる生徒の多くが、基礎学力が身につけていない現状から、これまでも「学び直し」「朝学習」などの取組をしてきているが、これまで以上に「わかる授業」に向けた授業改善と「ユニバーサルデザイン」の手法を取り入れ、さらに主体的な学びに進むための協調学習などについて考える必要がある。

また、本校の特徴的な取組として功を奏している「マナー指導」を含む「デュアル」を中心とする取組等について、生徒・保護者に説明をする機会を大事にし、いじめや災害対応について年度初めに示すなどの対応の徹底が必要である。

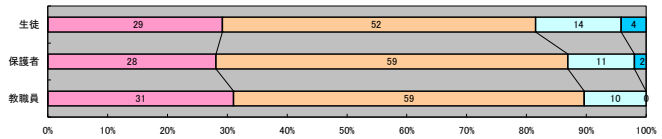
さらに、全般的な部活動の活性化は教員全体の危機感を共有して取り組む必要がある。

II 教育方針と学校経営

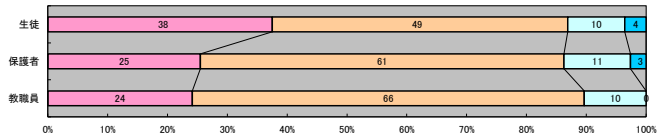
1 本校の教育方針や指導目標が分かりやすく共感できる



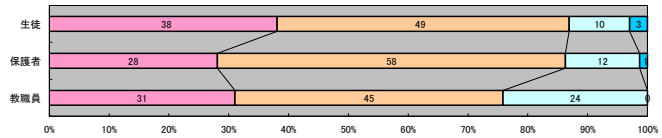
2 本校は、協調と奉仕の精神をもって誠実に責任を果たす生徒を育てようとしている



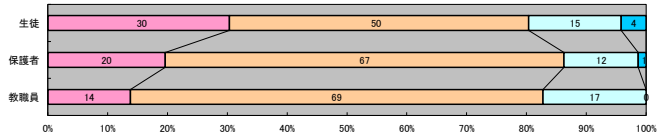
3 本校は、自主的で逞しい実践力のある生徒を育てようとしている



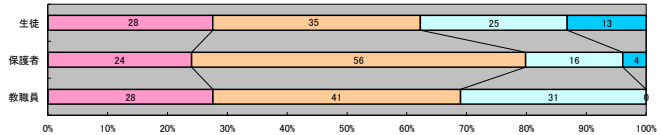
4 本校は、技能を習得し、勤労を重んじ、進んで創意工夫に努める生徒を育てようとしている



5 本校は、豊かな情操と高い道德心のある生徒を育てようとしている



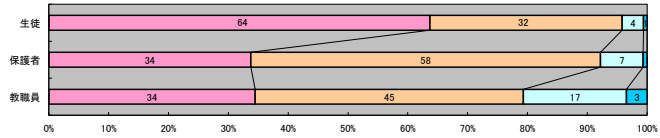
6 全職員が一致団結して教育活動にあたっている



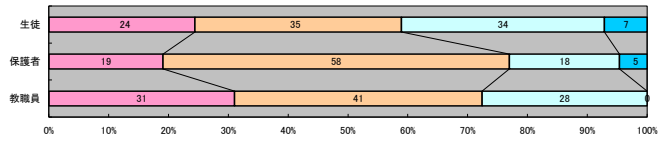
生徒の評価では「教育方針や指導目標が分かりやすく共感できる」で16ポイント、「協調と奉仕の精神をもって誠実に責任を果たす生徒を育成しようとしている」で9ポイント、「豊かな情操と高い道德心のある生徒を育成しようとしている」で7ポイント、「全員が一致団結して教育活動にあたっている」で22ポイントの低下となっている。
 保護者の評価は全般に微減または微増であるが、教員の評価を含めて見てみると「技能を習得し、勤労を重んじ、進んで創意工夫に努める生徒を育てようとしている」「全員が一致団結して教育活動にあたっている」については課題がある。
 商業高校としての本校の目標や役割を教員集団で再確認し、一致した指導を強化するとともに、「デュアル」・「資格取得」を核として3年間を見通した指導を進めるなどの取組が必要がある。

Ⅲ 基礎学力の充実向上

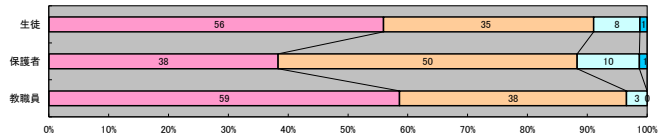
1 本校では、授業日数や時間は十分に確保されている



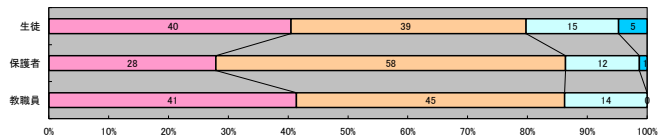
2 本校の先生は、生徒に授業後や週末によく宿題を出している



3 本校では、基礎学力の向上や検定取得に向けて課外や補習などを充分に実施している



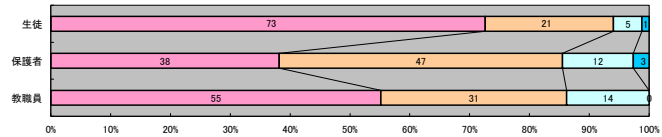
4 本校の学習環境は整っている



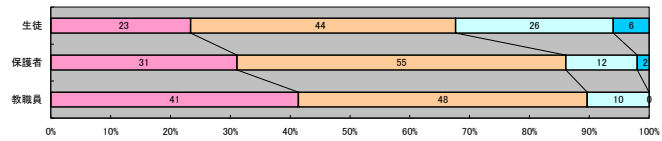
おおむね高い評価を得ている。「あまり当てはまらない」+「当てはまらない」が項目によっては教職員と保護者とでは差が出ているものもある。(教員の評価が高く、保護者の評価が低い) 内部ではよくやっていると思うがそれがなかなか外部の人々には理解してもらえない点があると思うので、いろいろな通信物あるいは活動を通して学校をPRし、より多くの理解を求めていく必要がある。「生徒に授業後や週末によく宿題を出している」項目では、保護者はほぼ変わらず、教職員は年々上昇しているが、生徒は大きく減少した。これは、生徒が与えられた課題をきちんと宿題だと認知していない、あるいは宿題の内容について生徒が物足りなさを感じているのではないかと考えられる。今後は宿題に関する指示を徹底するとともに、内容をより精査し、生徒の理解状況に沿った宿題を検討する必要がある。

IV 規律ある生活習慣の確立

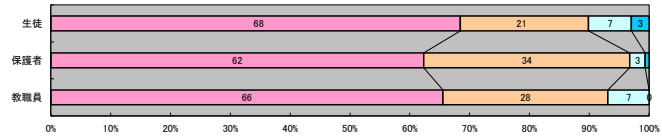
1 本校の生徒は、よくあいさつをする



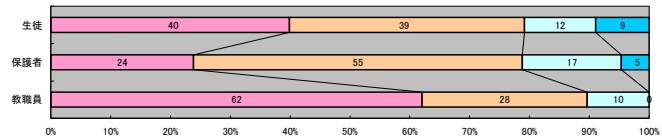
2 本校の生徒は、欠席・遅刻・早退が少ない



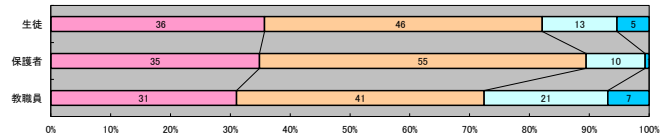
3 本校では、生徒の生活（頭髪や服装を含む）指導を厳しく適切に行っている



4 本校では、いじめや差別を許さず厳しく対応している



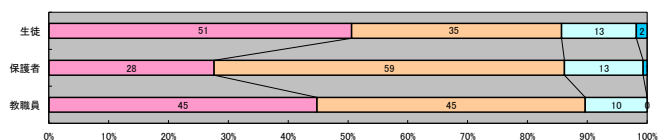
5 本校は、清掃などが徹底されて、きれいで整理されている



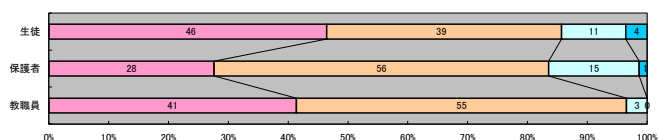
ほとんどの項目で「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」合わせて8割を超えている。本校生徒が概ね規律ある生活を送ることができていると、生徒自身、保護者、教職員が感じていると読み取れる。しかし、前年と比べて評価が下がっている項目も多く、生徒指導に努力していかねばならないと考える。
 生活（頭髪や服装を含む）指導に関する教職員の評価について、過去2年間「あまり当てはまらない」「当てはまらない」という回答者は0であったが、今年度「あまり当てはまらない」に7名の回答があった。共通理解を図って生徒指導に当たらなければならないと考える。
 いじめや差別への対応に関する評価は、生徒、保護者、教職員すべて下がっている。いじめなどを見逃さず適切に対応をしていかねばならないと考える。
 清掃の徹底に関する評価は、前年に比べて生徒、保護者、教職員すべて大幅に下がっている。教員がついてしっかりと清掃指導をする必要があると考える。

V 自主的な進路設計とその実現

1 本校では、生徒に適切な進路指導をしている



2 本校では、生徒が希望する進路を達成をしている

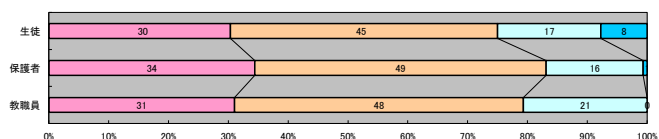


「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」の結果から、1の「進路指導」については生徒、保護者とも90%を下回る結果となった。進路指導について生徒・保護者に向けてもっと充実していく必要がある。2の「希望する進路の達成」についても生徒、保護者ともに90%を下回っているが、今回一回目で内定をもらった人数の割合に近い結果となっている。生徒と保護者の望む進路達成の考えがほぼ一致していると推測される。

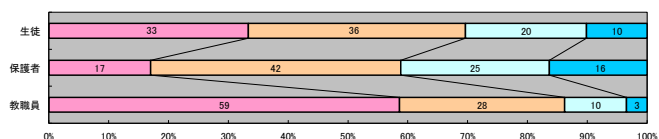
今後、進路行事の精選と検証を進めると同時に、保護者との連携を密にし、入学時から進路を視野に入れた指導を重ね、教員と生徒、保護者が齟齬をきたさないよう取り組みたい。

VI その他

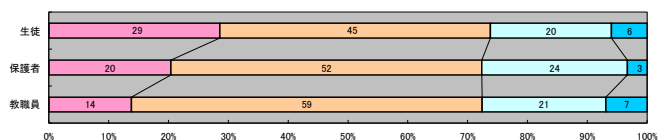
1 本校の職員は、礼儀正しく親切に対応してくれている



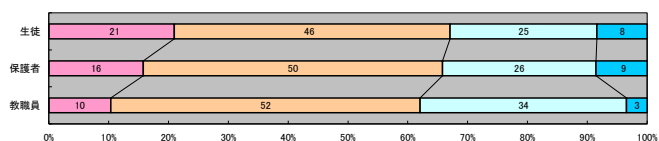
2 本校が実施している栗原版デュアルシステムを知っている



3 本校は、各種のボランティア活動を積極的に行っている



4 本校のホームページは、内容が充実している



各項目とも昨年度に比べて減少している。1の「職員の対応が礼儀正しく親切か」に関して、生徒からの評価が厳しくなっており、生徒・保護者の否定的な評価が増えている。職員は結果を真摯に受け止め、共通課題として認識することが必要である。

栗原版デュアルシステムについては全体の認知度は相変わらず低く、特に教職員の認知度が昨年度に比べて低くなった。取り組みを教職員をはじめ、外部にどう知らせていくか、真剣になって検討していかなければならないと思われる。

ホームページの内容充実の質問項目は教員からの評価がかなり厳しく、昨年度より大幅に減少した。更新を定期的に行うなど改善がされていないのが一因と思われる。全体的に見ても評価が下がっており、この結果を真摯に受け止め、内容充実に努めていかなければならない。